

令和3年度 生涯学習部研修会報告(中濃地域)

日時:令和3年11月21日(日) 時間:10:00~13:00

形式:WEB研修会(ZOOMを使用)

テーマ:「パラスポーツへの支援～東京2020大会を踏まえて～」

「車いすツインバスケットボールに携わって～チーム内での私の役割り～」

講師:荒谷 幸次先生(日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会 専任トレーナー)

講師:藤橋 雄一郎先生(平成医療短期大学 リハビリテーション学科 理学療法専攻 准教授)

参加人数:9名

今年度は、昨年度と同様に障害者スポーツに携わってみえる、荒谷幸次先生と藤橋雄一郎先生を再度お招きして、ZOOMでのWEB研修会を開催いたしました。内容も昨年度とほぼ同様でしたが、東京2020パラリンピック大会を終えてのことなども踏まえてバージョンアップしていただき、ご講義いただくことができました。

荒谷先生からは、日本パラリンピック委員会専任トレーナーの立場から、パラリンピックに出場するトップアスリートのトレーニング施設やトレーニング風景の動画、またコロナ禍の酷暑の中で開催された大会でのパラ選手特有の対応例なども紹介いただき大変勉強になりました。ただパラリンピックが終わったことで、各競技を支援するスポンサーや予算の削減などの課題もあり、パラスポーツへ理学療法士が参画していることが望まれていると感じました。

また藤橋先生からは、身近な障がい者スポーツとのかかわりとして、岐阜県内にある車いすツインバスケットボールチームのアシスタントコーチとしての活動内容を紹介いただき、普段は馴染みのないツインバスケットボールという競技のルールやクラス分けなどについて、動画を交えて教えていただきました。また藤橋先生が障がい者スポーツと関わるようになった経緯も教えていただき、誰にでも関りをもつことができるものなんだと感じることができました。またアシスタントコーチという立場であっても活動としては、実際に選手と一緒に練習に参加することや、車椅子の調整・整備など多岐にわたることを教えていただき、調整用の器具を自作されていることには感銘を受けました。先生の活動報告を聞いて、大切なことは選手に何かをしてあげるという気持ちではなく、自分自身が一緒に活動を楽しむことで、競技への興味も自然と増えていき、知識や技術がついてくるものだと感じました。

理学療法士という職業でも障がい者スポーツと関りをもっている方は少ないですし、なかなか目にすることや触れ合う機会も限られていますが、今回のパラリンピックを通して競技自体はテレビで見た方は多くいたのではないかと思います。そこに理学療法士として関わっていくイメージが、先生方のお話を聞いたことで少しでもわいたのではないかと思います。まだまだ課題も多いようですが、今後障がい者スポーツに興味を持ち関わっている理学療法士が増えていくと嬉しいと感じました。

最後に、貴重な時間を割いてご講演頂きました荒谷先生、藤橋先生をはじめ、本研修会に携わっていただいた生涯学習部スタッフの皆様に心より御礼申し上げます。

生涯学習部 中濃地域 片桐 由浩